



# 言語活動の充実に向けて

こうすればできる！ 言語活動を位置付けた授業改善

## 今、なぜ言語活動の充実が求められているのか…。

平成 20 年 3 月に改訂された学習指導要領では、総則の「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」に、「各教科等の指導に当たっては、児童の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、児童の言語活動を充実すること。」と明記されました。



## 学校の現状は…。

言語活動に関する研究を推進している都内公立小学校 94 校に、言語活動に関わる課題についてお聞きしました。

その結果、言語活動が、発表や話し合い中心になりがちであることや、言語活動の捉えの共通理解が難しく、「言語活動」自体が目的となっていることが分かりました。

### 〔参考〕

#### 児童の課題

- ・国語…読解力  
(特に、文章や資料の解釈、熟考・評価や論述)
- ・社会…基礎的・基本的な知識、概念
- ・算数…自分の考えを数学的に表現すること
- ・理科…科学的な思考力・判断力 など

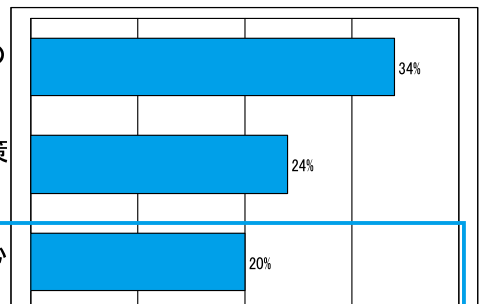


### 小学校における言語活動の課題

言語活動の捉えの共通理解が難しい

研究の具体的方策が見だしにくい

発表や話し合い中心の授業になりがち



都内公立小学校94校 複数回答

## 本研究における言語活動の捉え

国語科で身に付けた技能を基に、各教科等の授業のねらいを実現するための「話す・聞く」「書く」「読む」活動全般を指し、「思考」「判断」「表現」を伴う活動

次のページでは、本研究で整理した「言語活動としての要素」と「言語活動を支える基盤」について説明します。